

京都精華大学活動報告 16

日時：平成28年10月24日(月) 10:00～15:00

天気：晴

気温：最高 20.0℃／最低 14.0℃

参加者：11名

内容：たんぼ田起こし・レンゲ播種，おとぎの国屋上緑化畝づくり・菜の花播種

・まずは稲架を片付けました。



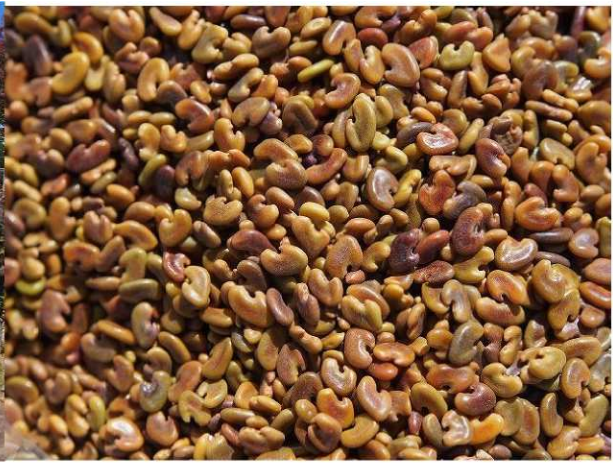
・その後、事前に二番穂を刈っておいた田んぼを耕運機で起こしながら，ワラを土に混ぜ込んでいきます。



・そして，今年はレンゲを蒔きました。レンゲは空気中の窒素を取り込み，根粒菌の働きで窒素肥料のようなかたちで蓄えるため，田植えの前にそのまま鋤きこめば肥料となるため，いままで無施肥でしたので，たんぼの土づくりの一環として行いました。

なお，正式には「ゲンゲ」と呼ばれ，化学肥料がない時代にはよく使われていたため，春に花を咲かせる「ゲンゲ畑」が「春の風物詩」となっていました。

来年春には，そんな田園風景を見ていただければいいかなと思います。



・続いて、先週土づくりを行ったおとぎの国屋上緑化エリアで畝を作り、菜の花を蒔きました。畝にしたのは、ヒマワリの時に水たまりができた経験からです。



・東側でも同様に畝を整備し、播種作業を行いました。



・ 今後は東西エリアで施肥の有無を変えて、生育差を比較していこうと思います。



生き物・学び・研究センター 和田